

報告

ノロウイルス食中毒予防強化期間 支部・支所の取り組み

食の安全・安心パトロールを開催しました

神戸市支部より

(一社)神戸市食品衛生協会では、令和2年から毎年実施している「食の安全・安心パトロール」を、今年度は令和6年10月30日(水)、生活協同組合コープこうべの店舗にて開催しました。ノロウイルス食中毒予防、リスクコミュニケーションの推進の観点から、合同での衛生パトロールや来店者への食中毒予防啓発を通じて、消費者・食品事業者(食品衛生指導員など)・行政の三者が、「食の安全・安心」についての理解を深めることが目的です。

当日は、総勢15名にて点検・チェック方法の事前説明を受けた後、食品販売エリアをパトロールしながら、食品の陳列・保管状況や店内の清潔度、従業員の身だしなみ等を真剣にチェックしました。また、冬期に発生しやすいノロウイルス食中毒についての予防啓発リーフレット等を封入した啓発グッズを来店者に配布しました。



食品販売エリアでの衛生パトロール

パトロール後は、振り返りと意見交換を行うとともに、食品事業者や行政より、それぞれの取り組みについての説明を聞き、「食の安全・安心」の重要性を再認識しました。特に、食品事業者が取り組んでいる「従業員の健康状態の点検」や「衛生的な手洗いの徹底」などがノロウイルス対策に重要であること、神戸市の食品衛生監視指導計画においても「ノロウイルスによる食中毒の予防」が重点監視項目に位置付けられていることを学びました。

最後に、全員に配られた液体せっけんと手指消毒ローションで「正しい手洗い方法」の確認をして、パトロールを終えました。

このほか、食品事業者向けの「ノロウイルスリモート研修会」や「実践研修会」も11月に開催し、合計139名が参加されました。



配布したノロウイルス予防啓発グッズ

ノロウイルス食中毒予防キャンペーンの開催

横浜市支部より

(一社)横浜市食品衛生協会では、横浜市医療局の後援を得て、昨年に引き続き、令和6年10月31日(木)に横浜駅東口新都市ホールそごう前広場にて今年で7回目の「ノロウイルス食中毒予防キャンペーン」を開催しました。

当日は、天候に恵まれ、開会式後に横浜市消防音楽隊のアンサンブル演奏が始まり、多くの方に足を止めていただきました。

消防音楽隊の演奏終了後、横浜そごう前を通行している市民(消費者)200名に、実際に家庭で行っている手洗いをしていただき、当協会所属の「手洗いマイスター」による汚れの落ち具合の判定と、手洗いの指導を行いました。

また、同時にノロウイルス食中毒予防リーフレットを市民(消費者)の方がたに配布し、周知・啓発をいたしました。

横浜市保健所にもブースを設置していただき、ルミテスターを使った手指の清浄度チェッ

クを行いました。

手洗い実践に参加された方がたからは、「家庭での手洗いでは、こんなにも汚れが残っていたんですね」「今日から家族みんなですっかりと手洗いをします」などと多くの感想をいただき、参加された方がたの手洗い意識の変化を実感しました。



多くの来場者で賑わう会場



普段の手洗いでの
汚れの落ち具合をチェック